

八幡平市地域公共交通活性化協議会
令和5年度第2回会議

日時：令和5年12月14日(木) 13時30分～

場所：八幡平市役所多目的ホール棟 多目的ルーム1

次 第

1 開会

2 会長あいさつ

3 協議事項

(1) 地域公共交通計画策定に係る実態調査等について

- ・現計画における各事業の実施状況について 資料1
- ・次期計画策定に係る実態調査について 資料2

(2) 次期地域公共交通計画骨子案について 資料3

(3) 今後のスケジュールについて 資料4

4 その他

- (1) 一般乗用旅客自動車運送事業による八幡平市における訪日外国人旅行客を対象としたタクシー輸送力の確保対策について

5 閉会

八幡平市地域公共交通活性化協議会委員名簿(任期:令和5年4月1日～令和7年3月31日)

	役職	所属	職名	氏名	備考
1	会長	八幡平市	市長	佐々木 孝弘	出席
2	副会長	八幡平市	副市長	田村 泰彦	出席
3	委員	東北運輸局岩手運輸支局	首席運輸企画専門官(輸送監査部門)	竹林 孝也	欠席
4	委員	東北運輸局岩手運輸支局	首席運輸企画専門官(企画調整部門)	村林 真悟	出席
5	委員	盛岡広域振興局経営企画部	特命参事兼企画推進課長	今 俊晴	出席
6	委員	盛岡広域振興局土木部岩手土木センター	道路河川整備課長	古舘 衛	出席
7	委員	岩手県公安委員会	岩手県警察本部交通部交通規制課長	高橋 紀彦	欠席
8	委員	岩手警察署	交通課長	田頭 幹紘	出席
9	委員	八幡平市	建設課長	工藤 剛	出席
10	委員	公益社団法人岩手県バス協会	専務理事	菅原 克也	欠席
11	委員	一般社団法人岩手県タクシー協会	専務理事	宮澤 淳	欠席
12	委員	岩手県交通運輸産業労働組合協議会	副議長	大坪 勝利	欠席
13	委員	岩手県北自動車株式会社	営業本部乗合事業部 部長	八木澤 健	出席
14	委員	東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社	盛岡営業統括センター 所長	庄司 裕二	代理
15	委員	有限会社平舘タクシー	代表取締役	高橋 光男	欠席
16	委員	西根観光タクシー株式会社	取締役	山口 智	出席
17	委員	有限会社安代観光タクシー	代表取締役	平 清史	出席
18	委員	八幡平市平舘地域振興協議会	事務局長	田村 栄造	出席
19	委員	八幡平市松尾地区地域振興協議会	理事	田村 英典	出席
20	委員	畑地区振興協議会	会長	立花 貴人	欠席
21	委員	岩手西北医師会	参与	及川 忠人	出席
22	委員	一般社団法人八幡平市観光協会	会長	田村 正彦	出席
23	委員	八幡平市商工会	会長	高橋 富一	代理
24	委員	八幡平市PTA連絡協議会	理事(八幡平市立松野小学校PTA会長)	梶本 希	欠席
25	委員	八幡平市老人クラブ連合会	会長	勝又 紘一	出席
26	委員	八幡平市婦人会連絡協議会	副会長	佐々木 育子	出席
27	委員	岩手県立大学	総合政策学部 准教授	宇佐美 誠史	欠席

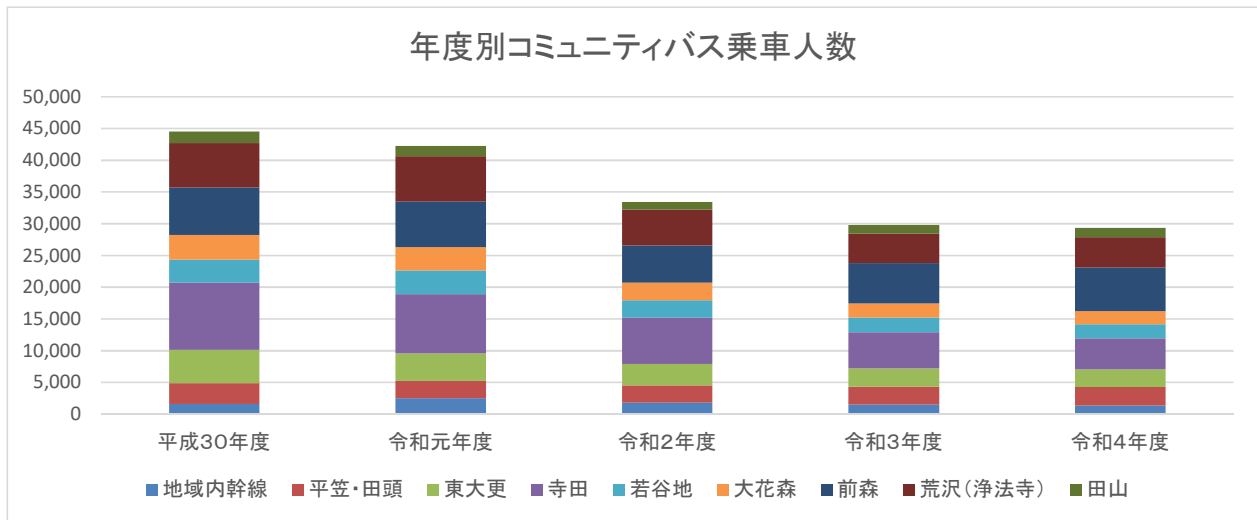
-		特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター		若菜 千穂	
-	事務局	八幡平市 まちづくり推進課	課長	工藤 輝樹	
-	事務局	八幡平市 まちづくり推進課	課長補佐	高橋 潤	
-	事務局	八幡平市 まちづくり推進課	地域振興係長	種市 篤志	
-	事務局	八幡平市 まちづくり推進課	地域振興係 主任	山本 和範	

協議事項（1）

現計画（八幡平市公共交通網形成計画 H28年度～R5年度）における各事業の実施状況について

目標 1 広大な市内を負担なく移動できる総合交通ネットワークの構築		実施状況
事業①	地域内幹線交通の構築 生活拠点を結ぶ路線の設置	H29～30：幹線バス試験運行実施 R1～：幹線バス本格運行
事業②	生活交通の確保と利便性の向上 田山路線（ニーズを踏まえた代替交通導入）、荒沢路線（運行時刻見直し）、大花森路線（運行経路見直し）、東大更路線（運行経路見直し）	H29～30：田山路線デマンド試験運行実施 R1：田山路線デマンド本格運行 荒沢路線、大花森路線、東大更路線については、一部路線変更等を行ったが、大きな改善に至らず。（車両数増、運行方法見直し必要）
事業③	広域交通との乗り継ぎ利便性の確保 鉄道、高速バスとの乗り継ぎ利便性確保（環境整備）	H29：安代テトラックに高速バス待合所設置 岩手山SA高速バス停設置関係について未実施
目標 2 コンパクトなまちづくりとの連携と交通拠点機能の構築		実施状況
事業①	大更駅を拠点とした総合交通ターミナルづくり 大更駅周辺の総合交通ターミナル化	R2：東口ターミナル供用開始 R3：西口ターミナル供用開始
事業②	ターミナル機能向上のためのバス路線乗り入れと動線確保 広域幹線、地域内幹線、コミュニティバスの集約	JR花輪線、岩手県北バス、コミュニティバス、幹線バス乗り入れ 岩手山SA～大更駅については未実施
目標 3 観光振興と一体となった観光交通の充実		実施状況
事業①	岩手山サービスエリアの交通結節点・乗り継ぎ拠点化	未実施
事業②	岩手山サービスエリアを基点とした市内周遊バス、シャトルバスの運行	未実施
事業③	空港（いわて花巻空港、仙台空港、青森空港）からのアクセス交通の充実 利用状況を踏まえた運行の充実	冬期いわて花巻空港、安比高原間シャトルバス運行
事業④	観光事業者・施設等と連携した誘客プロジェクトの企画・実施 企画乗車券（入浴、食事等のセット）等の商品開発	八幡平市内温泉施設との企画乗車券の販売（路線バス往復乗車券、ランチ券、入湯券のセット） スキーセット券のMaaS化
目標 4 だれでも安心して利用できる公共交通の利用促進		実施状況
事業①	バス待ち環境の改善・整備 ベンチ、上屋の整備、バスロケーションシステムの導入	R2：岩手県北自動車へのバスロケーションシステム導入支援 R3：市立病院（大更駅東口）にベンチ設置
事業②	公共交通情報案内ツールの作成・配布 市民、観光客へ分かりやすい情報の提供（時刻表作成、案内表示板設置）	コミュニティバス時刻表＆マップの作成、配布実施 コミュニティバスのナビタイム、ジョルダン、Google乗り換え案内への対応 駅等交通拠点へのデジタルサイネージ等案内表示未実施
事業③	“はじめてのバス利用”の促進 乗り方教室、運転免許返納者向けの運賃割引制度の実施	乗り方教室、試乗体験未実施。 R1～：免許返納者への運賃支援実施 （R1～4 コミバス1年間半額、R5～コミバス等券10,000円相当分1回交付）

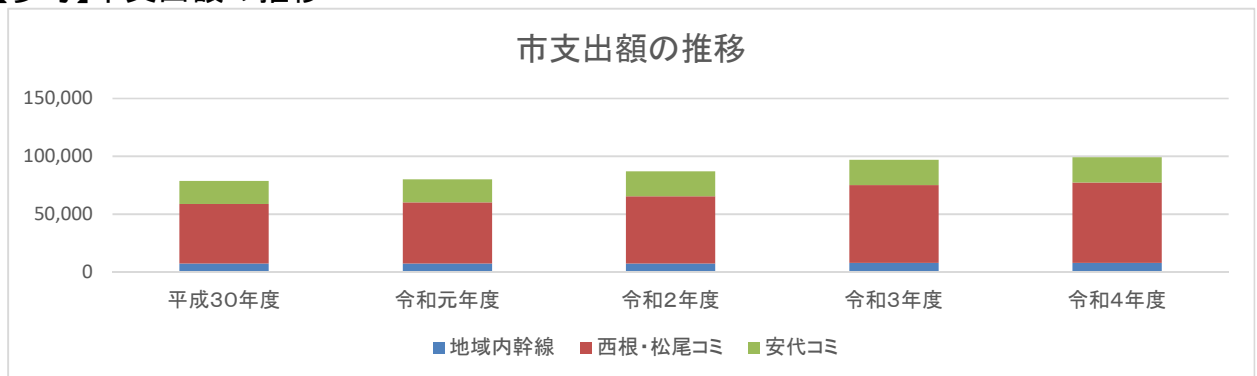
コミュニティバスの乗車状況について



	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
地域内幹線	1,619	2,554	1,834	1,496	1,392
平笠・田頭	3,267	2,666	2,683	2,872	2,924
東大更	5,221	4,372	3,419	2,874	2,757
寺田	10,606	9,317	7,312	5,693	4,885
若谷地	3,649	3,728	2,709	2,279	2,183
大花森	3,914	3,670	2,777	2,243	2,088
前森	7,445	7,199	5,845	6,353	6,832
荒沢(浄法寺)	7,041	7,156	5,661	4,635	4,839
田山	1,786	1,604	1,242	1,387	1,472
計	44,548	42,266	33,482	29,832	29,372

【単位:人】

【参考】市支出額の推移



	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
地域内幹線	7,260	7,260	7,189	7,829	7,989
西根・松尾コミ	51,737	52,866	58,176	67,394	69,520
安代コミ	19,924	19,924	21,642	21,642	21,642
計	78,921	80,050	87,007	96,865	99,151

【単位:千円】

資料 2 各種調査結果の概要

(調査一覧)

No.	調査名	調査の概要
1	JR 花輪線の乗降調査	<ul style="list-style-type: none"> 9月14日～10月4日に実施 JR 花輪線全便に対して、平日各1回調査員が乗車し、駅別乗降人数をカウント調査 調査区間は東大更駅～兄畑駅
2	乗合バスの状況調査	<ul style="list-style-type: none"> 9月2日～10月3日に実施 市内を走行する県北バス路線5路線に対して、平日各1回調査員が乗車し、対面式アンケート調査 調査区間は道の駅にしねまで
3	市民アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> 無作為抽出2100人に配布 令和5年11月14日～11月27日回郵送回収 オンライン回答併用 (Google フォーム利用) 779票回収 (回収率37%)
4	住民ヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> 11月27日～12月7日に10か所の福祉サロンに参加する方法で実施 調査員による対面ヒアリング調査 通院や買い物の外出実態と困りごとを把握
5	観光業者アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> 市内の宿泊事業者79社に郵送配布 令和5年11月14日～11月27日回郵送回収 44社回答 (回収率56%)
6	交通事業者及び関係団体へのヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> 交通事業者 4事業者 観光関係 6団体・機関 医療・福祉系 5団体・機関

目次

1.	JR 花輪線の乗降調査	2
2.	乗合バスの現況調査	4
3.	市民アンケート調査	5
3-1	調査概要	5
3-2	調査結果 (一部抜粋)	5
4.	住民ヒアリング調査	9
5.	観光業者アンケート調査	10
5-1	調査概要	10
5-2	調査結果 (一部抜粋)	10
6.	交通事業者及び関係団体へのヒアリング調査 (取りまとめ中)	13

1. JR 花輪線の乗降調査

大更駅と荒屋新町駅の1日平均乗車人員を見ると、鉄道の利用者は減少傾向を辿っている。定期率は8割前後を占めて高く、さらに増加傾向であることから、一般の利用を中心に減少していることがうかがえる。

学生の利用が多いことから、便別の乗降人数をみると、朝5時と6時台の上り便に利用が集中している。下りは17時以降の利用が多く、日中の利用者は少ない。

駅別の乗降人数は、大更駅の利用が特に多く、全体の42%を占める。次いで平館駅、北森駅が多い。

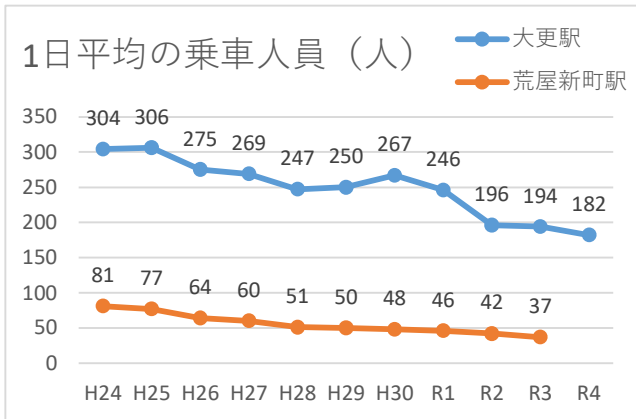


図 1日平均の乗車人員

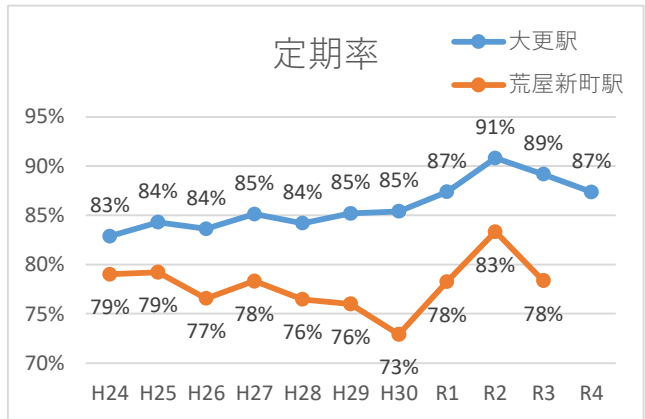


図 定期率

資料：JR 東日本、R4の荒屋新町駅は数値なし

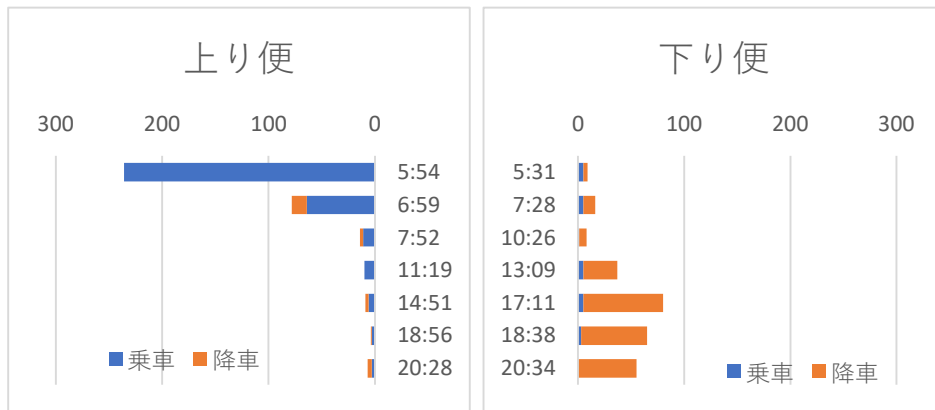


図 便別の1日乗降延べ人数

資料：令和5年9月の調査結果

注：八幡平市内の駅の乗降人数のみ

表 駅別の1日乗降延べ人数

駅	上り		下り		合計
	乗車	降車	乗車	降車	
兄畑	1	1	0	0	2
田山	7	2	3	12	24
横間	2	0	0	0	2
荒屋新町	30	1	2	12	45
小屋の畑	1	0	0	1	2
赤坂田	10	0	2	6	18
安比高原	10	1	1	15	27
松尾八幡平	12	0	0	10	22
北森	35	4	2	33	74
平舘	46	12	9	41	108
大更	176	6	5	79	266
東大更	6	0	0	37	43

資料：令和5年9月の調査結果

表 便別の1日乗降延べ人数

上り	乗車		降車		合計
	一般	学生	一般	学生	
5:54	28	208	0	0	236
6:59	41	23	2	12	78
7:52	11	0	3	0	14
11:19	10	0	0	0	10
14:51	6	0	3	0	9
18:56	2	1	1	0	4
20:28	3	0	4	0	7
下り	乗車		降車		合計
	一般	学生	一般	学生	
5:31	3	2	4	0	9
7:28	5	0	10	1	16
10:26	1	0	7	0	8
13:09	4	1	11	21	37
17:11	1	4	14	61	80
18:38	1	2	32	30	65
20:34	0	0	10	45	55

2. 乗合バスの現況調査

県北バス路線の利用者の目的は、「通勤 (28%)」「通学 (29%)」が多く、合わせて全体の 6 割を占める。

次いで「観光 (11%)」が通院や買い物よりも多い。

利用の多い時間帯は朝 6～7 時、帰りは夕方 16 時台が集中して多い。

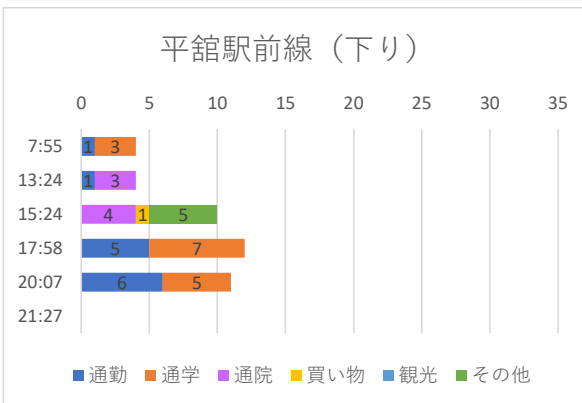
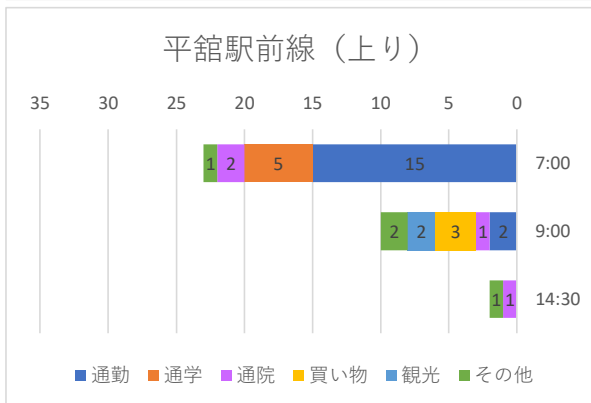
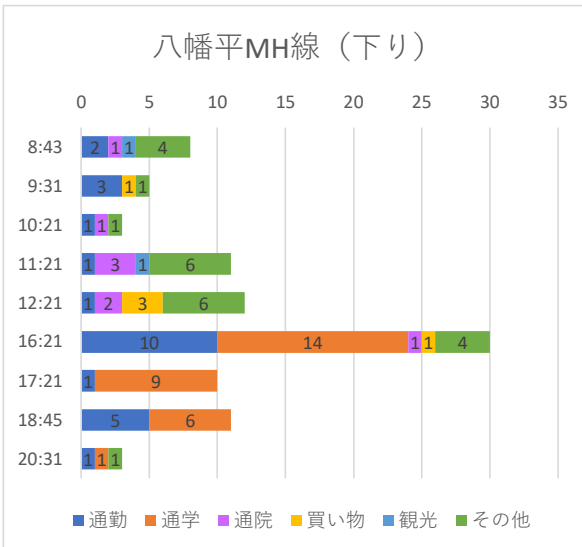
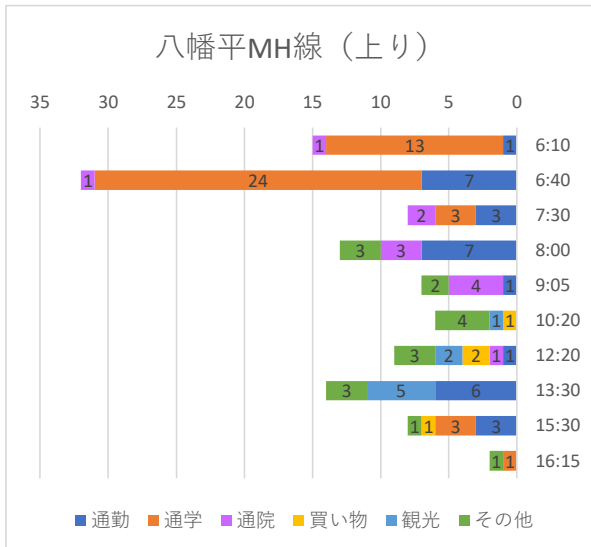
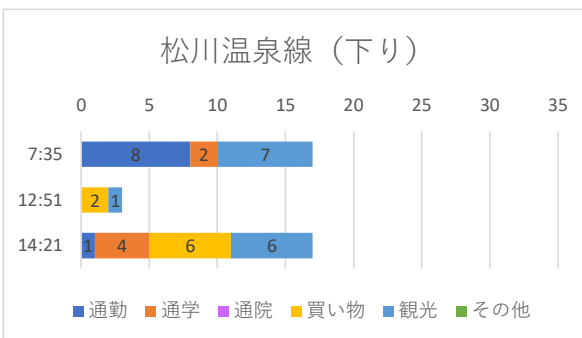
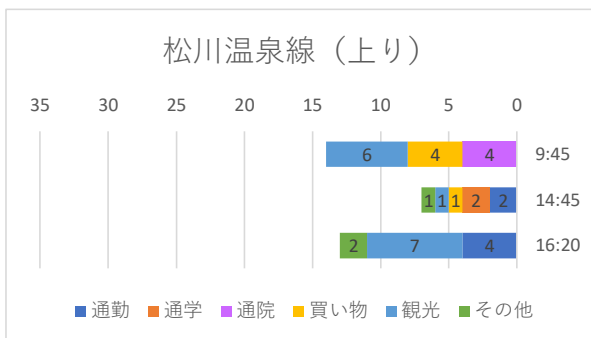
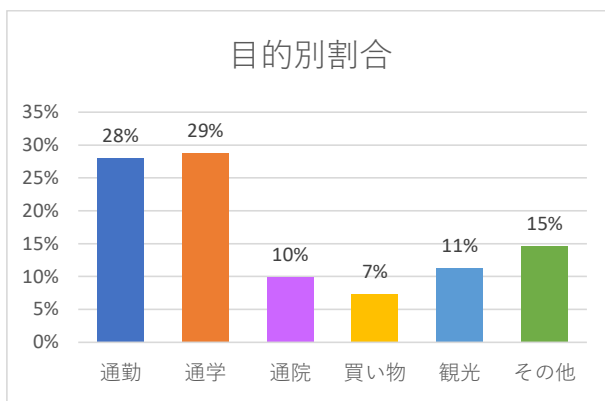


図 路線別便別の利用者数

3. 市民アンケート調査

3-1 調査概要

配布対象：無作為抽出 2100人

調査期間：令和5年11月14日郵送配布

～11月27日回郵送回収

オンライン回答併用（Google フォーム利用）

回答票数：郵送回収票数 552票

オンライン回答数 229票

合計 779票（回収率37%）

表 配布抽出数

年齢	西根	松尾	安代
15～19歳	100	100	100
20～29歳	100	100	100
30～39歳	100	100	100
40～49歳	100	100	100
50～59歳	100	100	100
60～69歳	100	100	100
70歳以上	100	100	100

回答数

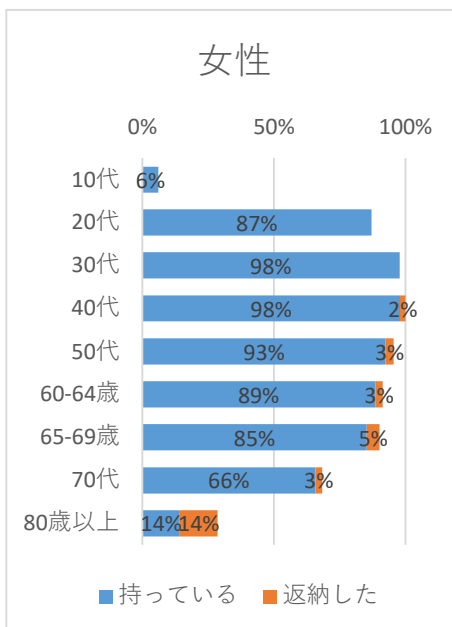
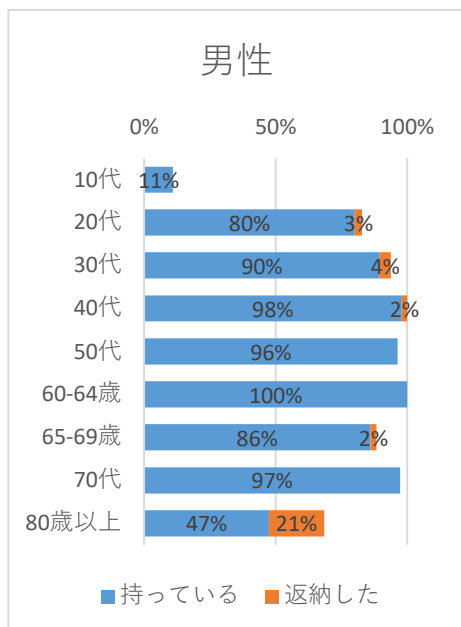
年代	西根	松尾	安代	総計
10代	38	32	26	96
20代	23	12	30	65
30代	35	32	29	96
40代	35	33	31	99
50代	41	38	47	126
60代	48	49	46	143
70代以上	47	46	53	146
総計	267	242	262	771

回答率

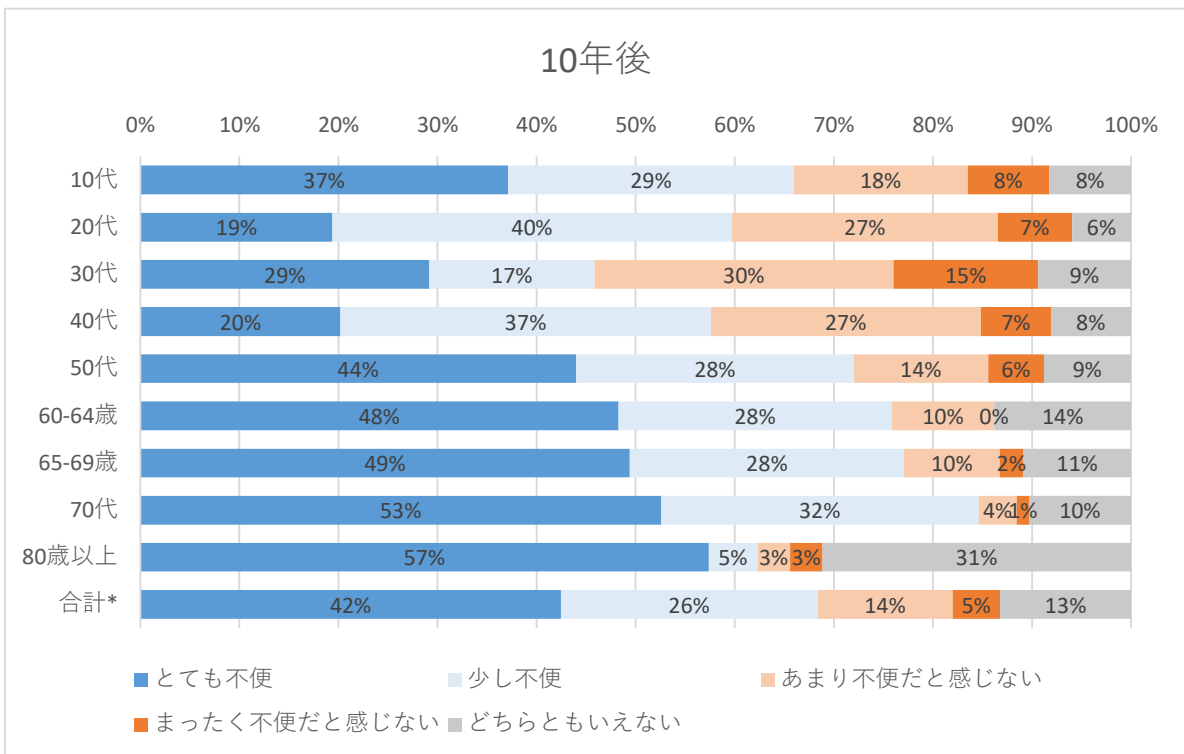
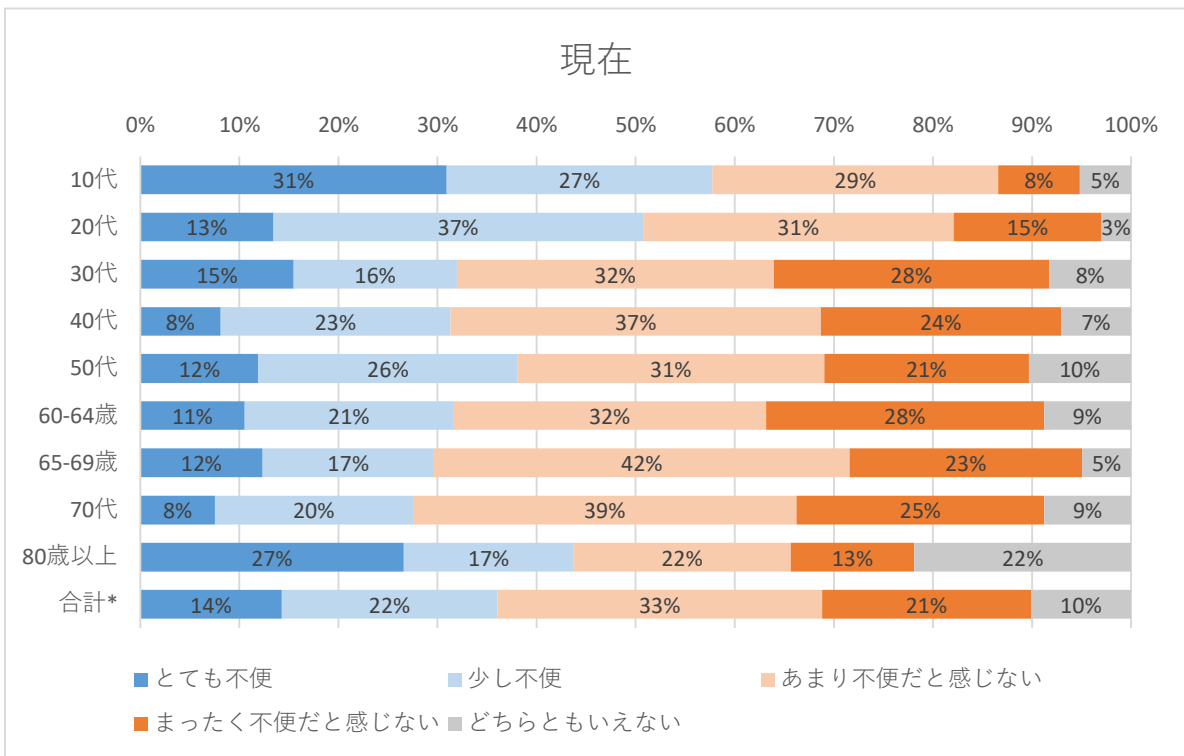
年代	西根	松尾	安代	総計
10代	38%	32%	26%	32%
20代	23%	12%	30%	22%
30代	35%	32%	29%	32%
40代	35%	33%	31%	33%
50代	41%	38%	47%	42%
60代	48%	49%	46%	48%
70代以上	47%	46%	53%	49%
総計	38%	35%	37%	37%

3-2 調査結果（一部抜粋）

（自動車運転免許保有率）

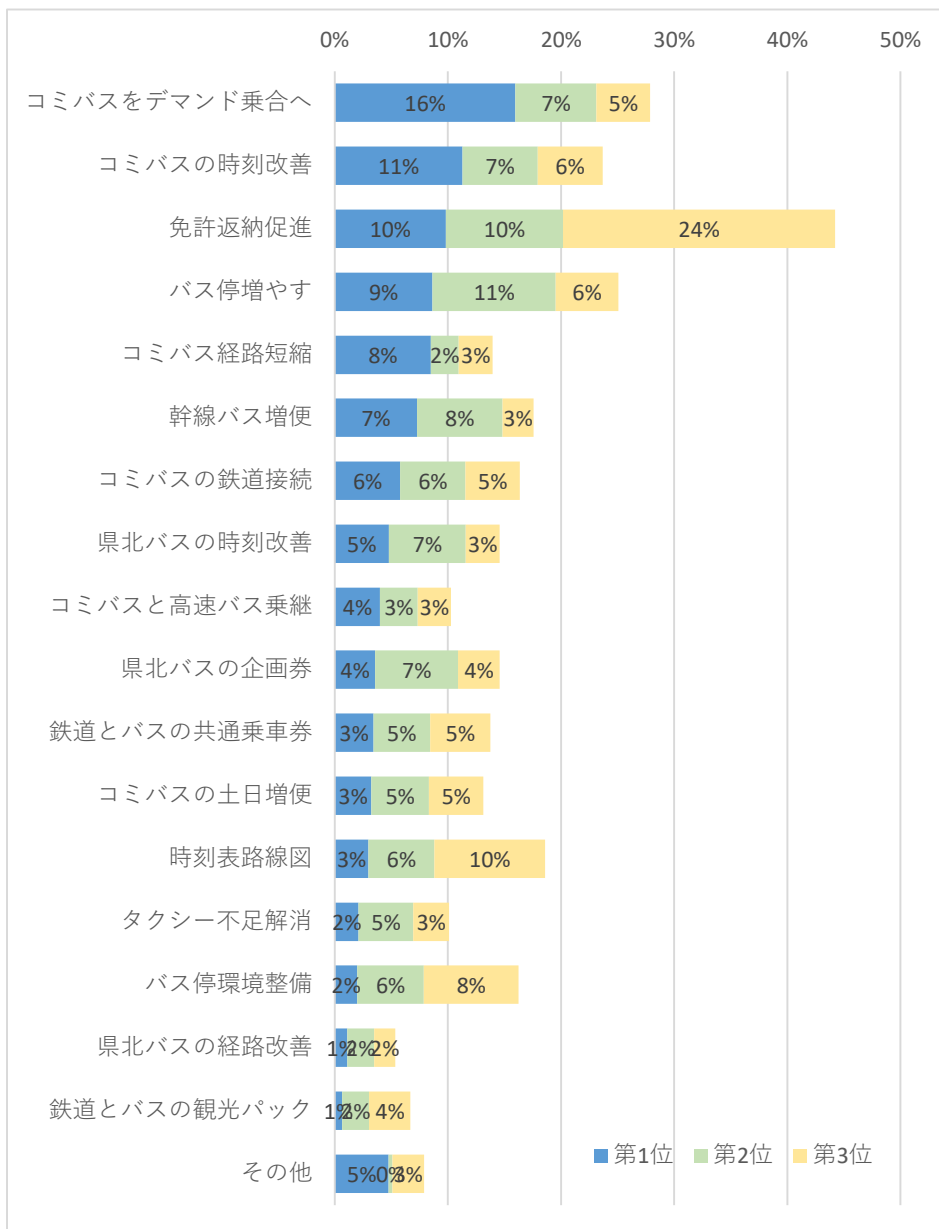


(外出やおでかけを不便と感じるか)

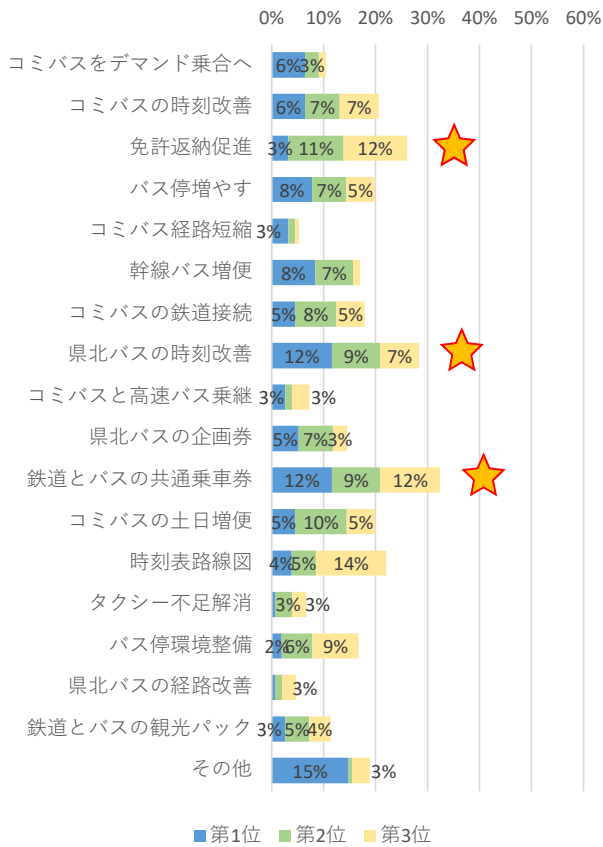


(外出やお出かけをもっとしやすくするためにはどうしたらいいか)

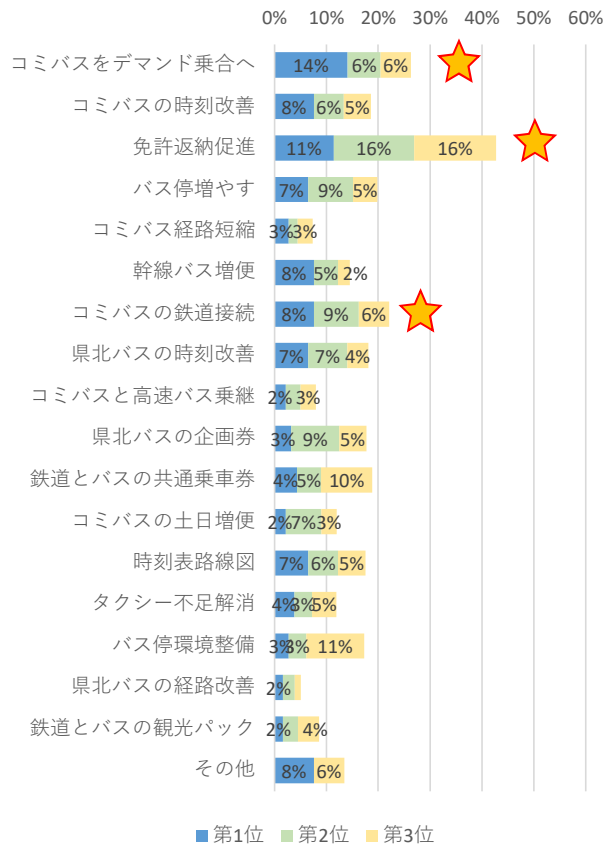
- 第1位として最も多いのは「コミュニティバスを予約で利用できる乗合型タクシーにする」で、回答者の16%が選択している。第2位、第3位を合わせるとおよそ3割の人が選択している。
- 第1～3位の合計を見ると、「免許返納を促進するために、返納者に対して公共交通利用券を配布する」が全体の44%の人が選択しており最も多い。
- 年代別にみると、10代20代は、「鉄道とバスの両方を利用できる切符を売り出す」が1位も多く、合計としても多い。「その他」には「鉄道の便数を増やしてほしい」という意見が多く含まれる。
- 30～49歳と50～64歳は「コミュニティバスの運行時刻を改善する」が比較的少なく、「分かりやすく、持ちやすい時刻表や路線図を配布する」が比較的多い。
- 65歳以上も時刻表配布は比較的多い。



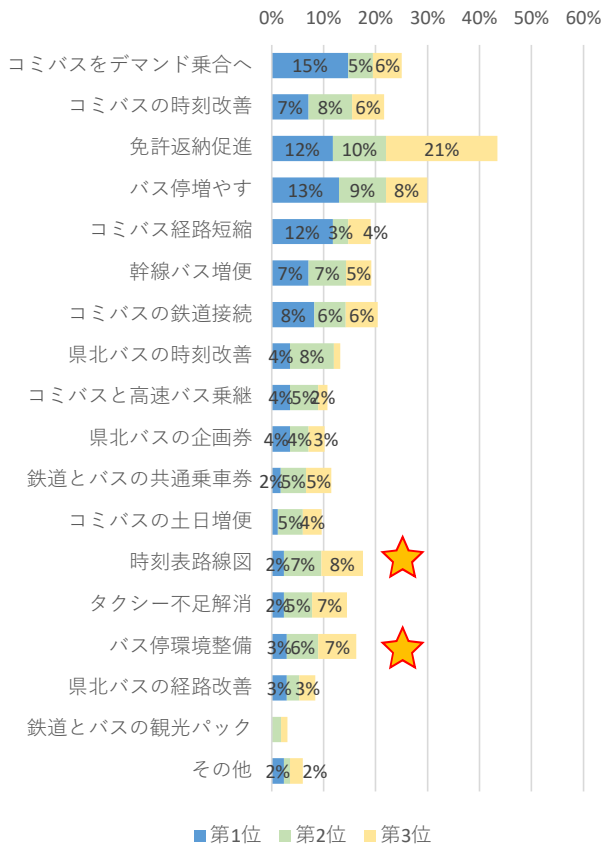
15-29歳



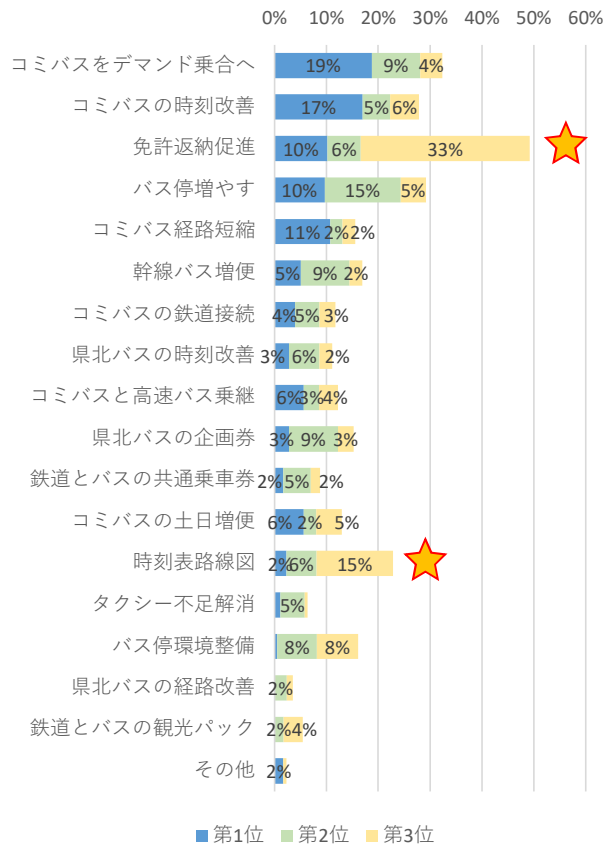
30-49歳



50-64歳



65歳以上



4. 住民ヒアリング調査

(調査対象地区と対象人数)

No.	地区	行政区	集落	サロン	対象者
1	西根	大更	北村	ストロベリー	8名(免許あり6名、なし2名)
2		西根寺田	帷子	あじさい	9名(免許あり4名、なし5名)
3		大更	両沼	両沼いきいきサロン	9名(免許あり6名、なし3名)
4		田頭	舘腰	サロンたてごし	6名(免許あり3名、なし3名)
5		平舘	共新	共新絆の会	5名(免許あり3名、なし2名)
6	松尾	野駄	下野駄	姫娘松ぐるーぷ	3名(免許あり2名、なし1名)
7		松尾寄木	温泉郷	サロンみずなら	10名(免許あり8名、なし2名)
8	安代	秋葉	秋葉	あじさいサロン	7名(免許あり3名、なし4名)
9		石名坂	石名坂	あったかサロン	8名(免許あり1名、なし7名)
10		新興矢神	新興通り	ほべっこサロン	5名(免許あり0名、なし5名)

(移動の実態)

地区	主な外出先	主な移動方法
西根	【通院】 市立病院、岩手町内 【買い物】 ユニバース、渋民イオン 【その他】 盛岡の民謡サークル、弟の家	<ul style="list-style-type: none"> 平舘駅は遠いので、JRは使わない。 盛岡に住む息子が週1回送迎してくれる。
松尾	【通院】 東八幡平病院、吉田内科、盛岡 【買い物】 薬王堂 【その他】 七時雨温泉、松川温泉	<ul style="list-style-type: none"> 夏場は自転車で行けるが、冬はコミバスを使う。帰りは時間が合わないのでタクシーで帰ってくる(810円)。 買い物は、週に1回子どもたちが買ってくる
安代	【通院】 田山診療所、鹿角厚生病院 【買い物】 花輪のいとく、ユニバース 【その他】 あづみの湯	<ul style="list-style-type: none"> 高速バスが1時間に1本あるので使いやすいで、田山ICのバス乗り場がクマが怖い。 りんどう苑の買い物ツアーバス

(困りごとなど)

- 足の筋力が衰えて、車のエンジンがかかりにくくなってきたと感じる(75歳、女性)。
- 車を運転しているので、JRやバスには乗ったことがない。孫の送迎があるので、あと1回免許更新したい(85歳、女性)
- 病院にコミバスで行って、帰りはタクシーを利用するときは、西根観光の営業所まで行って待つ。
- 田頭の個人商店がなくなった。(田頭)
- 病院帰りの昼前後にバスがもう1便あるとよい。
- 幹線バスは帰りの時間が14時で遅い。まちなかに安心して待てる場所があるといい。(田山)
- 高速バスの運賃は、田山～盛岡は1500円、田山～荒屋新町が600円で、荒屋新町までが高い。(田山)
- バスの時間が7:30発なので、着いても店も病院も銀行も開いていない(西根寺田)。



5. 観光業者アンケート調査

5-1 調査概要

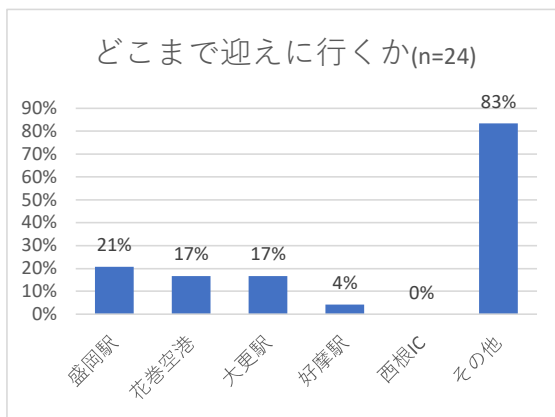
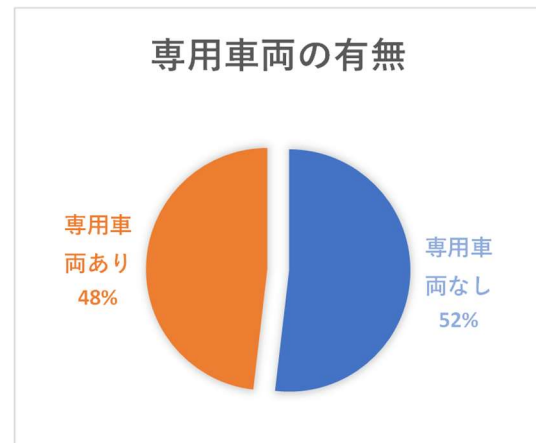
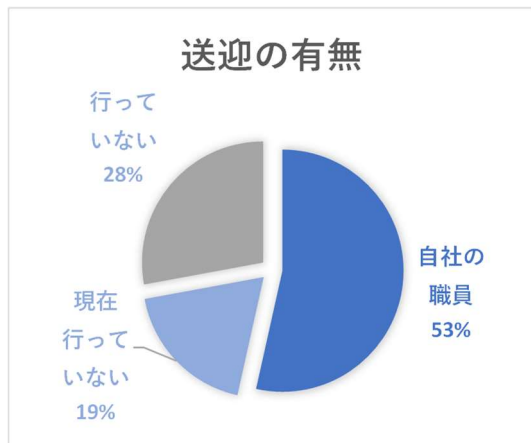
配布対象：市内の宿泊業者 79社

調査期間：令和5年11月14日郵送配布～11月27日回郵送回収

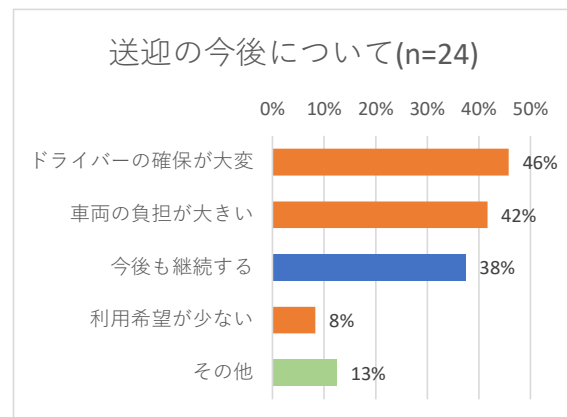
回答票数：44社回答（回収率56%）

5-2 調査結果（一部抜粋）

（送迎の現状）

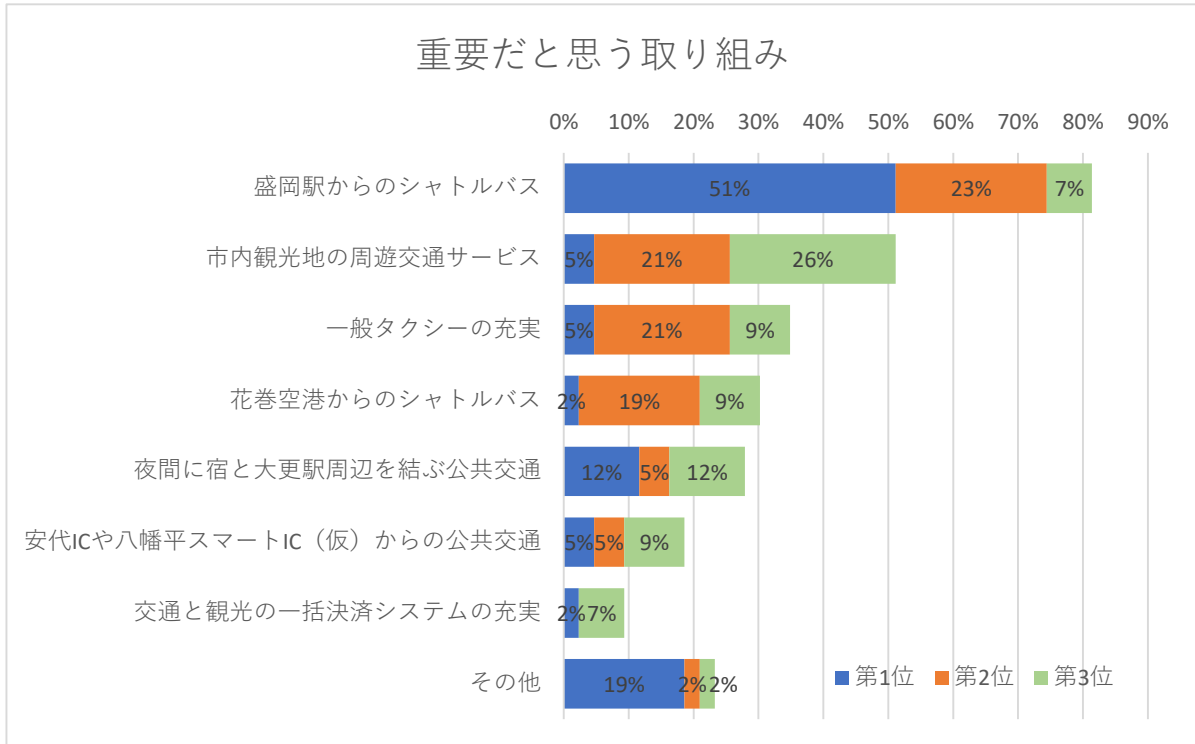


・その他には安比高原スキー場が多く含まれる



・オレンジは「できればやめたい」

(重要だと思う取り組み)



(その他の内容)

- ・ ライドシェア (ウーバー、タクシーみたいなもの) × 6
- ・ 安比高原駅⇄スキー場のバス運行
- ・ レンタカー、Times 等のシェアリングサービス
- ・ 高速道の各 IC とパーキングに高速バスのバス停を作る
- ・ JR 花輪線の大更駅でのバス接続をよくしてほしい。花輪線に松川温泉行を合わせてもらえると、温泉郷や松川温泉どちらにも便が良い。

(八幡平市内の観光交通に関する意見や要望) 一部抜粋

- ・ 冬季はほぼ 100%が海外からのお客様に宿泊いただいております。海外のお客様はほぼ 100%公共交通で来ます。スキー場から宿への送迎を無料で行っていますが車の維持費、ガソリン代の負担が大きいです。お客様を載せて何度も危ない思いもしています。お客様にはタクシーがあれば呼びたいと言われますが来てくれる**タクシー会社がありません**。
- ・ 八幡平市全体で考えると宿泊施設を中心とした個別送迎を行わざるを得ない。観光業者のため、また、花輪線活性化のためのライドシェア特区の強い推進。安比エリアは**安比高原駅～スキー場～温泉館エリアのシャトルバス**、あるいは安比線遊歩道の整備（ローソンからの道路）
- ・ 夏に八幡平市を観光する方に**自然散策バス**は大変人気路線になっている。また、鉱山資料館 8:00 発八幡平頂上経由御在所行きも登山利用者が年々増えている。秋田側のバスが復活し秋田との行き来が公共交通でできるようになれば、免許返納なされる方のバスの利用が多くなると思う。花輪線とバスの接続をよくすることで大更駅の利用者も増えて大更の活性化にもつながると思う。
- ・ 現実的に地域性を見ても鹿角の近くに「八幡平市」という括りで観光が結びつかない。スキー大会があっても鹿角市内に大会関係者が訪れたりする方が多く、あまり上記のアンケートに関してイメージがわからない。ある程度**近隣の町とも連携して観光振興**を考えていく方法はないのでしょうか？
- ・ 滞在のお客様を増やすためには**市内観光地を周遊できる交通**サービスが必要です。また、観光タクシーを低料金で利用できるように補助金を出してもらえるとありがたいです。
- ・ 各エリアでときにはライドシェアもしくは小回りの利くタクシー送迎を市が予算をとって各拠点に配置して、海外の方や他県の方々をコンビニや駅スキー場やレストランへ送り迎えしてあげればよいと思う。
- ・ **夜間、宿泊施設⇄大更間のシャトルバス**早急な検討が必要です。
- ・ 観光交通が少なすぎるため自家用車やレンタカー以外のお客様のプランニングが難しい。そのため**に安比を避ける人は多い**と思う。**花輪線直結の連絡バス**が必要。
- ・ 市内の交通機関のセンターをつくり（大更駅前）そこから市内観光地に連絡する。市内観光地を明確化する。
- ・ 安比高原スキー場（岩手 H&R）の意向もあると思うが、**冬期間だけでも花輪線と接続したバスの運行（安比高原駅 スキー場）**をお願いしたい。先々、先シーズンは、各宿の送迎ドライバーが、「駅に到着したお客様」に行き先を確認し、各宿(ホテルのドライバー含む)のドライバーが、「スキー場や各宿」に送迎し、駅にお客様が残らないように配慮している状態です。スキー場までの交通手段(路線バス、タクシー)が、当然あると思って来たお客様がとて多く、リゾート地として、自動車以外で来るお客様に対し、不安を与え、考えられない状況だと思っています。
- ・ バスの便が悪いです。**時間に間に合わずレンタカーを利用**しております。盛岡駅からの無料シャトルバスがなくなったため交通手段が複雑になっていますし、外人は理解できない時もあります。外国のお客様も増えてきましたので改善をお願いします。連泊のお客様も多いですが市内周遊するバスが利用できません。時間バスの便が合いません。

6. 交通事業者及び関係団体へのヒアリング調査（取りまとめ中）

（対象者）

分類	名称	調査実施日
1) 交通事業者 （営業状況、利用者の様子、課題、これからについて他）	県北バス	10月12日9時半～
	西根観光タクシー	9月28日11時～
	平舘タクシー	9月28日13時～
	安代観光タクシー	10月5日16時～
2) 観光関係 （観光入込の状況、移動の状況、課題、公共交通に期待することについて）	観光協会、安比民宿組合、市商工観光課	10月5日10時～
	DMO	10月5日11時～
	ホテル協議会	9月28日14時～
	ペンションビレッジ会	10月5日9時～
3) 医療・福祉系 （福祉有償運送の状況、免許を持たない人の現状と課題、公共交通に期待すること）	社会福祉協議会、市地域福祉課	10月5日13時～
	市立病院	9月28日16時半～
	東八病院	9月28日15時～
	安代診療所	10月5日15時～

（質問事項）

1) 交通事業者

- ・ 営業状況（車両台数、従業員人数と年齢、営業時間、シフト等）
- ・ 利用者の様子（利用者数の変化、増えたところ減ったところ、主な利用者等）
- ・ 課題と感じていること、困っていること
- ・ これからの市内の公共交通のあり方について
- ・ その他

2) 観光関係

- ・ 観光入込の状況（来訪者数、宿泊人数、インバウンドの状況等）
- ・ 企画、活動内容
- ・ 来訪者の移動の状況、送迎の有無（送迎している場合の車両やドライバーについて）
- ・ 課題と感じていること、困っていること
- ・ これからの市内の公共交通のあり方について
- ・ その他

3) 医療・福祉系

- ・ 福祉有償運送の有無や状況
- ・ 免許を持たない人の移動の現状と課題
- ・ 課題と感じていること、困っていること
- ・ これからの市内の公共交通のあり方について
- ・ その他

現状

課題

基本目標

事業計画

【地域の概況と特性】

- 南北に延びる市域を高速道路やJR花輪線が縦断し、その沿線に病院やスーパー等の生活利便施設が立地している。
- 高速道路やJR花輪線が秋田県や青森県へ延び、八幡平市は北東北の交通拠点となっている。
- 高齢化と人口減少が進んでおり、特に安代地区は顕著である。

【地域交通の運行状況】

- 鉄道、高速バス、路線バス、コミュニティバス、タクシーと多様な交通モードが地域公共交通のネットワークを形成している。
- 安代地区では高速バスが生活交通の一翼を担っている。
- JR花輪線は利用者数が減少しており、平成27年と比較して昼の1往復が減便となり、住民の利便性に影響を及ぼしている。
- 路線バス5路線のうち2路線が国の補助要件を下回っており、今後の運行の継続が課題である。
- コミュニティバスが面的に運行されているが、路線・系統数が多く、複雑で分かりづらいネットワークとなっている。1路線当たりの便数も平均1往復と少ない。
- コミュニティバスが運行していないエリアがあり、交通空白地が発生している。

【観光事業等】

- 市全域に観光資源が立地しているが、特に八幡平と安比エリアには県外からも多くの来訪者がある岩手を代表する観光資源がある。
- 外国人観光客の来訪も増え、来訪者の多様化がみられ、今後も増えることが予想される。
- 観光事業者の廃業等が発生している。

【住民の移動ニーズ】

- 免許を返納すると生活が不便になると感じ、高齢になっても自動車運転を続けている人が多い。
- 自動車を運転する人はJRや路線バスを利用しないため、乗車方法が分からない。
- 友人らで温泉施設に行くことが娯楽となっている人が多い。
- 自動車運転免許返納を促進する対策を希望する人が多い。
- 自宅の近くから乗降できる公共交通を期待する人が多い。
- 現在は不便を感じていないが、将来不便を感じると不安に思っている人が多い。

公共交通の利用者は減少し、交通事業の経営状況は厳しさが増している。

鉄道や路線バスの減便により、通勤や通学に不便が生じている。

交通事業の担い手の不足が深刻化している。

交通空白地がある。

高齢化によりバス停まで歩けない、車両ステップが上がれない人が増えている。

自動車運転免許保有率が高まり、公共交通を利用したことがない人が増えている。

将来、高齢になったとき外出に不安を感じている。

外国人観光客も含め来訪者の多様化と増加が予想されるが、交通資源は不足している。

基本目標1

効率性と利便性を高め、**持続性**のある地域交通をつくる。

基本目標2

子どもからお年寄りまで**安心して頼れる**地域交通をつくる。

基本目標3

訪れやすく、**にぎわい**を演出する地域交通をつくる。

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～12年度
①路線バスの効率化			
<ul style="list-style-type: none"> 路線の統合と集約 廃止区間におけるコミュニティバスへの移行 			
②コミュニティバスの見直しによる持続性の向上			
<ul style="list-style-type: none"> 松尾エリアや安代地区デマンド運行化 通院等に合わせた時刻の見直し EV車両導入等によるエコモビリティの推進 			
③JR花輪線の利用促進			
<ul style="list-style-type: none"> 通学、通勤定期補助 サイクルトレイン等によるエコモビリティの推進 			
④免許返納の促進			
<ul style="list-style-type: none"> 免許返納時の助成 			
⑤公共交通で通勤や通学ができる環境をつくる			
<ul style="list-style-type: none"> 盛岡からの帰宅の補完 子育て支援につながる施策の検討 			
⑥公共交通を身近に感じる機会づくり			
<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の出前講座や体験乗車会等の開催 			
⑦安心しておでかけできる交流環境の整備			
<ul style="list-style-type: none"> まちなかにバス待ち環境の整備 乗り継ぎしやすいネットワークづくり 			
⑧季節交通も含めた来訪者も分かりやすい情報提供の推進			
<ul style="list-style-type: none"> シャトルバス、自然散策バス、安比高原スキー場線、安比エアポートライナー等 			
⑨広域周遊観光の促進			
<ul style="list-style-type: none"> 広域観光をサポートするハイヤーの導入と地域交通の調整 高速バスやサービスエリアを活用したネットワークの構築 			

前計画(H27)

地域公共交通をめぐる課題

- 広域さの克服
- 鉄道を補完する移動手段の多様性と総合性の実現
- 高齢化社会への対応
- タクシー空白地の解消
- 路線バスの持続可能性を高めるための公共交通の効率化
- バス待ち環境の改善などの利用促進
- 観光客の移動手段の整備・充実
- 大更駅を中心としてコンパクトなまちづくりと交流の促進

計画の目標

目指すべき公共交通ネットワーク

市民も来訪者も
"安心して・楽しく" 往来できるまちと
公共交通ネットワークを実現する



実現される市民の生活

- * 最寄りの医療機関や商業施設に乗り継ぎなく行ける。
- * 市の都市拠点である大更駅周辺に、半日で行き帰りできる(週1回程度)

公共交通ネットワークイメージ

「大更」を、総合病院や商業施設、金融機関等に歩いていける『都市拠点』とし、「田山」と「荒屋新町」を、診療所や商店などへ歩いていける『生活拠点』と捉えます。自宅からそれら各拠点へ移動できるエリアを『生活交通エリア』とし、各拠点が週1回程度『地域内幹線』で結ばれる形を、目指すべき公共交通ネットワークとします。



目標1 広大な市内を负担なく移動できる総合交通ネットワークの構築

- 構築 地域内幹線交通の構築
- 構築 生活交通の確保と利便性の向上
- 構築 広域交通との乗り継ぎ利便性の確保

目標2 コンパクトなまちづくりとの連携と交通拠点機能の構築

- 構築 大更駅を拠点とした総合交通ターミナルづくり
- 構築 ターミナル機能向上のためのバス路線乗り入れと動線確保

目標3 観光振興と一体となった観光交通の充実

- 構築 岩手山サービスエリアの交通結節点・乗り継ぎ拠点化
- 構築 岩手山サービスエリアを基点とした市内周遊バス、シャトルバスの運行
- 構築 空港(いわて花巻空港、仙台空港、青森空港)からのアクセス交通の充実
- 構築 観光事業者・施設等と連携した誘客プロジェクトの企画・実施

目標4 だれでも安心して利用できる公共交通の利用促進

- 構築 バス待ち環境の改善・整備
- 構築 公共交通情報案内ツールの作成・配布
- 構築 “はじめてのバス利用”の促進

協議事項（3）

今後のスケジュールについて

期日	会議名等
令和5年12月14日	第2回会議 ・地域公共交通計画策定に係る実態調査等について ・次期地域公共交通計画骨子案について
令和6年2月13日	第3回会議 ・次期地域公共交通計画素案について
令和6年2月中旬 ～3月上旬	パブリックコメント実施
令和6年3月上旬～ 中旬	第4回会議 ・八幡平市地域公共交通計画案について
令和6年3月末	【現計画】八幡平市地域公共交通網形成計画終了
令和6年4月～	【次期計画】八幡平市地域公共交通計画開始